

創 風 会

質問者

北川 元気議員



Q

職員が市議から刑事告訴された件で、職員を守る条例を見送った理由は

A

既に整備済みの規則で対応可能という市長の判断で見送った

Q「職員を守る条例」は、規則で十分であるとして提案を見送られたが、規則は市長の判断で改廃できる内部ルールであり、職員にとって安心の担保とはならない。6月定例会以降の検討の経緯は。

A 人事部の3名と協議し、市長の判断で条例化を見送った。

Q 議会と執行部、市長と職員の間不信をどう回復し、信頼関係を再構築するのか。

A 信頼関係は双方の協力により築かれるべきで、誠実に行動を重ね、良好な関係構築に努めたい。



Q

副市長人事について
前回からの変化は

A

前回具体的な経歴や役割への期待を十分に説明できず反省している

Q 否決された7月臨時会からわずか2か月という短期間で再提案されたことに市民から疑問の声が寄せられている。よほどの理由と根拠が必要であるが、前回からの変化は。

A 前回具体的な経歴や役割への期待を十分に説明できず反省している。

Q デジタル政策の担い手としての適格性は。

A 県のデジタル対応の所管については事実誤認があったが、マネジメント力を発揮してもらいたい。

Q 県の財政課長時代、平成20年度決算において単年度赤字を計上し、積立金32億円を取り崩し、最終的に27億円の赤字となったことに対する見解は。

A 当時、リーマンショックにより県税収入が落ち込んだという背景があり、それを乗り越えられた経験がある。単年度の数字で一個人の手腕を評価すべきでない。



その他の質問

- ・「祝 彦根市長！田島一成を祝う会」について
- ・新ゴミ処理施設問題について
- ・彦根城世界遺産登録について

夢みらい

質問者

小川 吉則議員



Q

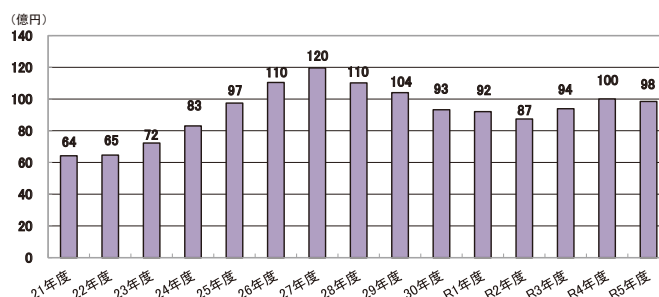
令和8年度予算編成に対して市長はどのような方針を出すのか

A

引き続き「財政の健全化」を第一に、一件査定方式による再点検を行う

Q 令和7年度予算編成では、一件査定方式でひとつひとつの施策を慎重に厳しく精査されたが、市長の令和8年度予算編成方針や編成方式はどのようなものか。また、財政調整基金残高はほぼゼロとなっており、その他の基金についても非常に厳しい基金残高となっている。具体的に財源をどのように確保し、基金を積み上げていくのか。

A 令和8年度の予算編成については、引き続き「財政の健全化」を第一に、一件査定方式による再点検を行う。具体的にどのような財源を確保し、基金を積み上げるのかについて、基金の財源は基本的には剰余金となることから、歳入確保と歳出削減が必要となる。厳しい財政状況から現在は基金積立が困難だが、将来のため少しでも基金の積立てができるよう努める。



▲彦根市の基金残高の推移

Q

世界遺産登録に向け県との連携登録申請スケジュールはどう考えているか

A

来年度改めて国内推薦を勝ち取り、令和10年に世界遺産登録を目指す

Q 世界遺産登録に向け今後、県との連携登録申請スケジュールや、登録に向けて求められる保存・管理計画は改めてどう考えているか。また、市民への説明会や情報発信の頻度・方法を改善し、市全体で一丸となって世界遺産登録に向けた取組も必要と思うが、どのように考えるか。観光客増加を見据えた交通、駐車場、公共交通機関の整備計画はどのようなものか。

A 来年度に改めて国内推薦を勝ち取り、令和10年に世界遺産登録を目指すこととなる。彦根城の保存管理については、大きな問題はないと理解している。この一年を大切な機運醸成の機会と捉え、市全体で彦根城の世界遺産登録を成し遂げる機運を更に高めたいと考えている。国内推薦が決まれば、組織体制の強化も含めた具体的な対策を実施していきたいと考えている。



▲世界遺産登録を目指す彦根城



その他の質問

- ・ 公共施設等の維持管理について
- ・ 本市の環境問題における将来展望について

市政について
質す!

9月定例会個人質問

15人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、
事前申し込みによる
手話通訳を
実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について



▲彦根市議会
インターネット
映像配信はこちら

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。
また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。

配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。

(<https://hikone-city.stream.jfit.co.jp/>)

彦根市YouTubeチャンネルでも本会議映像をご視聴いただけます。



▲彦根市YouTube
チャンネルは
こちら

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



八橋 龍二議員



おさつ街道の横断歩道設置は可能か



基準に満たないが、新たに事故が発生したため、警察署に協議を申し入れる



その他の質問

- ・国スポ・障スポ大会時の円滑な運営とバリアフリー対応について
- ・大会レガシーを生かしたまちづくりについて

Q 横断歩道設置基準の内容は。

A 警察庁の「交通規制基準」に基づき歩行者数や滞留スペースの有無

などを考慮し、彦根警察署が設置可否を判断される。ご指摘の箇所は近接箇所に既設の横断歩道があるため「市街地においてはおおむね100メートル以上、非市街地においてはおおむね200メートル以上とする」との基準を満たしていないと判断されたもの。

Q 基準の柔軟な運用は可能か。

A 設置基準では通学・通園児、高齢者、身体障害者等の横断する場所は設置間隔を短縮できるとも規定されており、新たに子どもに関わる事故が発生しているため、この緩和基準が適用できないか彦根警察署に改めて協議の申し入れを行う。



▲おさつ街道